

Participatory Environment and Civic Design

2 units (required selection (C))

Junzo Kita · PART-TIME LECTURER, Yoshifumi Kasai · PART-TIME LECTURER, Junko Sanada · ASSISTANT PROFESSOR / REGIONAL AND URBAN PLANNING, DEPARTMENT OF CIVIL AND ENVIRONMENTAL ENGINEERING

Target 美しく使いやすい土木施設や都市環境づくりを進めるための基礎的な技法を体得から理解する。

Outline スライドなどを用い、環境デザイン基礎理論、事例やプロセスを説明し、都市環境デザインの身近な事例についてグループごとに、ワークショップ形式でコンセプト作成力とデザイン力を養う実習等を行う。

Keyword *landscape engineering, city planning*

Fundamental Lecture “Data Processing”(1.0), “Planning Theory”(1.0)

Relational Lecture “景観デザイン”(0.5)

Requirement 地域・環境デザインを合わせて履修することが望ましい。

Notice 出席と授業中に実施するチームワークが評価の中心となる。

Goal 参加による環境デザインの技法として WS 手法を理解し、地域環境デザインコンセプトを作成できる能力を身につける。

Schedule

1. ガイダンス (ワークの目的と WS 手法の理解)
2. 調査計画の策定
3. フィールドサーベイ
4. 課題の抽出 レポート課題
5. コンセプト・デザイン レポート課題
6. ゾーンプランニング レポート課題
7. 詳細デザインプラン作成 レポート課題
8. グループ発表 レポート課題
9. 地域環境デザインの基礎
10. 地域デザインコンセプトプランニング レポート課題
11. 地域デザインワーク 1
12. 地域デザインワーク 2 レポート課題
13. 地域デザインワーク エスキースチェック
14. 発表会 1
15. 発表会 2 レポート課題

Evaluation Criteria 到達目標が達成されているかを、レポート課題 (60%) 発表会の評価結果 (40%) で評価し、60%以上を目標のクリアとし、クリアしたものを合格とする。

Jabee Criteria 成績評価と同一である。

Relation to Goal 本学科の教育目標の 3(3) に 100%に対応する。

Textbook なし

Reference 鳴海・田端・榊原編:都市デザインの手法, 学芸出版. その他については講義時に紹介する。

Webpage <http://www.ce.tokushima-u.ac.jp/lectures/D0049>

Contents <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=215945>

Student Able to be taken by student of other department and faculty

Contact

⇒ Yamanaka (A410, +81-88-656-7350, yamanaka@ce.tokushima-u.ac.jp)

MAIL (Office Hour: オフィスアワー:年度ごとに学科の掲示板を参照のこと)

⇒ Kita (jkita@mb.intoweb.ne.jp) MAIL

⇒ Kasai (+81-88-652-7666, edit-yk@mail2.netwave.or.jp) MAIL

Note 授業を受ける際には、2時間の授業時間毎に2時間の予習と2時間の復習をしたうえで授業を受けることが、授業の理解と単位取得のために必要である。